

特集01

未来に向けて、福岡女子大学ができること

特集02 新任教員×新入生 座談会

私たち、福岡女子大でよかった！

My life

株式会社電通九州
インテグレート・ソリューション局専任局長 兼
新規ビジネス開発室長
小野 和美様

20歳^{ハタチ}の原点

毎回、福岡女子大学に縁のある方々を紹介します。
あの人は20歳の頃、どんなことを考え、
どんなことに迷い、どんな選択をしてきたのか
若き日々の原点となるライフストーリー。



写真右

筑

豊の街で生まれ育ち、大学には自宅から車で通学していました。大学ではどちらかと言えば、真面目に勉強に取り組む学生ではありませんでした。法学部を志望した理由は、元々公務員という職業に関心があったことと、当時我が国の政界や経済界を震撼させたロッキード事件が発覚する等「政治家と金の問題」が大きな社会問題となっており、その解明に取り組んでいく検察官という職業に興味を持っていたからでした。

日々の学生生活は、週2日程度塾講師のアルバイトをしながら、軟式野球サークルの練習、合宿、試合には率先して参加していました。夜は先輩や同級生の下宿を訪ね歩いて酒を飲みながら高校時代の思い出や将来のことを語り合うのが楽しみでした。

当時心に残っている一番の思い出は、母校である田川高校の野球部が夏の全国高校野球選手権大会に出場したことでした。

福岡女子大学 常務理事 兼 事務局長
梶原 公德 KAJIWARA KIMINORI

福岡県田川市出身

1981年北九州大学法学部法律学科卒業。卒業後、福岡県庁に入職。福岡県田川福祉事務所を皮切りに民生部、総務部、農政部、秘書室、商工部を経て、2007年10月から直方市副市長として出向。復職後は、商工部企業立地課長、総務部次長、人事委員会事務局長を経て、2018年3月に定年退職。同年4月から現職。

20代前半に経験した生活保護ケースワーカーの仕事は、社会経験がほとんどない一人の若者にとって、経済格差の実感を痛感する6年間でした。

県大会の決勝戦は同じ筑豊地区にある高校との試合でした。勝利の瞬間には夕陽が照り付けるスタンドで、在校生、父兄、卒業生が1つとなつて歓喜に沸く光景は今でも鮮明に記憶に残っています。

甲子園では惜しくも1回戦で敗退しましたが、炭鉱閉山の後遺症から抜け出せずに疲弊が続いていた地域に夢と感動を与えてくれました。甲子園出場が決まって1月も経たない期間で多額の寄附金(取立て金額は言いません)が集まったことは、「もう一度とないであろう偉業」を成し遂げた部員たちへの感謝と期待の証だったと思います。

昨年はコロナ禍で中止となりましたが、夏の甲子園大会は私の夏の楽しみの1つとなっています。息子と一緒に甲子園球場での観戦に足を運んだこともあり、全国の高校球児たちが地元への期待を背負って懸命にプレーする姿に今でも勇気と感動を貰っています。

筑豊地域は、昭和30年代後半頃からの

思い出の本

20歳の頃に読んだ城山三郎著の「官僚たちの夏」は、昭和30年代の高度経済成長期における通商産業省(現:経済産業省)のキャリア官僚達の、政治家や経済人に媚びる(忖度する)ことなく、国家・国民のために信念をもって政策を立案・遂行していくという使命感に強く感銘を受けました。私が公務員という職業を選択する動機付けの1つになった1冊でもありました。

国のエネルギー政策の転換により、それまで隆盛を極めていた炭鉱の廃業・閉山が続き、人口減少と地域経済の衰退に歯止めをかけるための抜本的な対策を見い出せない状況が続いていました。今は目にするにもありませんが、当時は「産炭地域の振興」や「鉱害復旧の促進」という政府に財政措置を求める看板が街中で散見されました。

大学卒業後の進路を考える際は、地元を離れて県外で就職するか、地元に残るか自問自答を繰り返しましたが、高校生の頃から目にしてきた筑豊地域の光景(疲弊感)が私の進路を決定付けたと思います。

自分の故郷である筑豊地域を元気にしたい、活性化させたいとの思いで県職員という職業を選択しました。今振り返ってみれば、県職員として企業誘致や農業振興の業務に携わることによって、地域の振興に少しだけ貢献できたかなと思っています。

今でもたまに、進学や就職で地元を離れていたらどんな人生を送っていただろうかと考えることがあります。地元に残って県職員の職業を選択したことを後悔することはありません。

就職して間もない頃、姉から「人が貴方に従うのは、貴方が就いているポストがあるから」という意味の言葉を投げかけられました。当時は理解できませんでしたが、県庁での仕事を続ける中で、上司や同僚に限らず接する県民の方から、一人の人間として信頼を得ることの難しさと重要さを痛切に感じることも何度もありました。今でも、このことを肝に銘じながら行動するように心掛けています。

靴に釘がささっていても…… 吉行理恵

裸足になってかけだしたまま
戻らなければよかったと
思うこともあるんです
靴に釘がささったから
私は裸足になりました
私の腕につかまったら
私の指をふりほどぎ
笑いながらかけだしました
りんどうが咲くという
その香がかすかにたよってる
あんまり知らない林道を……
靴に釘がささっていても歩いて行けると
なぜだかわかってきたけれど
裸足になってかけだしたまま
戻らなければよかったと
思うこともあるんです

よしゆき 理恵 (一九三九〜二〇〇六)
吉行理恵

詩人・小説家
東京府現在の東京都生まれ。母は吉行あぐり、父は作家の吉行エイスケ、兄は詩人の吉行淳之介、姉は女優の吉行和子、女子学院中学校・高等学校、早稲田大学第一文学部日本文学専修卒業。
父や兄の影響を受け、早くから文筆活動に目覚め、在学中より『ユリイカ』に詩を投稿、卒業後も詩作を続ける。一九六八年詩集『夢のなかで』で田村俊子賞を受賞。繊細な感性をいかして小説も執筆し、一九五六年『小さな貴婦人』で芥川賞、一九八九年短編集『黄色い猫』で女流文学賞を受賞した。
『吉行理恵詩集』(思潮社)より

CONTENTS

- 03-06 **特集01** 未来に向けて、福岡女子大学ができること
- 07-10 **特集02** 新任教員×新入生 座談会 私たち、福岡女子大でよかった!
- 11-13 **My life** 株式会社電通九州 インテグレート・ソリューション局専任局長 兼 新規ビジネス開発室長 小野 和美様
- 14 研究室紹介 環境科学科 吉村 利夫

- 15-16 世界歴史探究! 近・現代史のすきまを埋めよう〜オーストリア編〜 国際教養学科 馬場 優
- 17-19 FWUTOPICS 19 成果報告 20 社会で羽ばたくなでしこたち UHA味覚糖株式会社 上野 由貴さん 21 お知らせ/編纂の寄り道 22 福岡女子大学100周年記念事業



福岡女子大学広報 FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY MAGAZINE No.115 AUTUMN 2021

福岡女子大学ができること

2022年度にカリキュラム改定が行われる福岡女子大学。
なぜそれが必要だったのか、どのような狙いがあるのか。
3人の教員に語ってもらいました。

次代の女性リーダー 育成のための、 思い切った カリキュラム改定。



共通教育機構 教授

吹原 豊

学部共通教育機構長、アドミッションセンター副センター長
カリキュラム改定プロジェクトチームのメンバー。学部共通教育の担当としてカリキュラム改定に携わる。専門分野は日本語教育学。主に留学生対象の日本語教育を担当。

国際教養学科 准教授

渡邊 俊

学長補佐、教務企画センター副センター長、教育・学習支援センター副センター長
カリキュラム改定プロジェクトチームのメンバー。全学の教務、国際教養学科の担当としてカリキュラム改定に携わる。専門分野は日本史。

環境科学科 教授

庄山 茂子

副学長、教務企画センター長、教育・学習支援センター長
カリキュラム改定プロジェクトチームのリーダーとして活躍。専門分野は環境デザイン学。

庄山..自分で課題を見つけて自分で解決につなげられるような自立学習を取り入れます。教室で学ぶだけでなく、学外学習などで社会と関わりながら、英語や日本語を学んでいく仕組みです。また、もうひとつ今回の改定で特徴的なのが、上級英語と上級日本語を必修科目にしている点です。これらは、専門科目の内容を英語や日本語で学ぶための導入科目として位置づけています。

吹原..留学生対象の日本語教育に携わっている立場からの話になりますが、これまでの上級生が論文を書いたりゼミなどでプレゼンテーションをする中で、もう1回しっかりと日本語を勉強したいという声も学生から上がっていました。これはつまり、日本語を学んでいたはずなのに、論文やプレゼンテーションの場で生かされきていないということ。それが今回必修となった上級英語や上級日本語を学ぶことで、専門教育に生かすことができるのではないかと考えています。

学んだ言語を 生涯にわたって使うための ACE、ACJへの改編。

渡邊..今回の新カリキュラムには3つの柱というポイントがありますよね。その1つ目が、これまでのAEP(Academic English Program)とAJPA(Academic Japanese Program)をACE(Academic and Career English Program)とACJ(Academic and Career Japanese Program)に改編するんですよね。

庄山..これまでのAEPでは、英語を大学の学びのツールとして学術英語に特化したカリキュラムを組んでいましたが、実社会では実践的なコミュニケーションであるキャリア英語が必要であり、さらに生涯を通して英語との関わりができる人材を育成する必要があると考えていました。それが今回のACEへの改編の背景です。

吹原..ACJもACEと同様に、キャリアという部分に重きを置いて、学術だけでなく職業、大学を卒業した後まで意識して教育を行うというものです。ACJは留学生が主に授業を受けるわけですが、これから日本と関わりながら仕事をしたいことがある中で、生涯に渡って日本語を使いながら自己実現をしてみたいと思います。

渡邊..これまでとは違う、新しい試みもあるんですね。

学生をより成長へつなげる さまざまな科目の設定。

渡邊..2つ目の柱がリーダーシップ開発科目と体験学習科目の必修化、留学認定科目、文理統合科目の新設ですね。

庄山..これは本学の基本理念である『次代の女性リーダーを育成』を実現することを目的としています。これまでも副専攻などでさまざまな学びを用意していましたが、さらに具現化したいと考えたのが大きな背景です。

吹原..体験学習はすでに本学の大きな特徴でしたが、これまでよりさらに、体験したことをしっかり振り返って言語化するということを意識しています。

庄山..自ら課題を見つけて解決につなげていくことができるリーダーの育成が期待できます。

渡邊..共通教育のところでは、留学認定科目が導入されますね。

吹原..今はコロナでなかなか留学が難しいところもありますが、本学はこれまで世界の有名大学と協定を結び、多くの学生を送り出し、受け入れてきました。しかし、これまで留学先の大学で取得した単位を、本学の単位として認めることが難しいという実状がありました。それにより卒業が遅れてしまうこともあり、それが留学したいという意欲に水を差す可能性があったのです。そうしたマイナス面を払拭したいと思っていました。



庄山.. 留学を希望し、卒業は必ず4年でしたいという学生もいますので、その思いに応えられるようになると思います。

渡邊.. 留学先での努力が本学でも認められるようになるんですね。文理統合科目というのも新しいですね。

吹原.. 本学は、国際文学部だけの1学部制ですが、それを最も具現化する科目として立ち上げられるのです。従来の文系や理系というカテゴリーにとられない考え方を身につけて欲しいという狙いがあります。専門分野の異なる教員が共同で授業をデザインしていくのです。

庄山.. 文理統合科目では、SDGsの17の目標を分類した5つのP (People: 人間、Prosperity: 豊かさ、Planet: 地球、Peace: 平和、Partnership: パートナシップ)をテーマ

として設定します。この科目は、学生たちが専門の分野に進んでいくための土台となるもの。幅広く多角的な視点からアプローチするという点ではとても重要な科目となると思っています。

渡邊.. SDGsがテーマというのはエッセンスですね。私もこの文理統合科目の設定に携わりましたが、改めて世の中の課題について考えてみると、現実社会に文理の差っていうものはありませんよね。全てが文系と理系の力を結集しないと解決できない。高校でもそうですが、大学の中にあるとどうして文系と理系に分けて考えてしまうことが多いので、今回の文理統合科目の設定は現実社会の問題解決への気づきになるだろうなと思っています。

これまでのコース編成を一新。オーダーメイドの4年間へ。

渡邊.. 3つ目の柱は主体的な学びですね。これまでとは違って学生個人を大切にしたい取り組みだと思っています。

庄山.. そうですね。環境科学科では、これまでの4つの履修コースが2コースになり、これによって学生たちが履修するカリキュラムの幅が広がることになりました。幅広いカリキュラムの中から、自分が目指すところを主体的かつ体系的に学んでもらいたいという考えから生まれました。

吹原.. 国際教養学科も同じ考えて、5つの履修コースがありました。そのコースがなくなり、学びの選択が増えることで、学生個々が卒業論文・卒業研究までの道筋を自分でデザインしていくことができるのです。

渡邊.. それは学生たち自身が自らの学修をオーダーメイドするような感覚ですね。学生たちにとっても新鮮な取り組みだと思いますが、これによって教員たちのアドバイザーもこれまで以上に重要になってきますね。

庄山.. そうですね。教員もこれからさらに学生個々のことを深く理解して指導していくことが必要だと思います。

渡邊.. 学生たちには、学びの成果を目に見える形で残していく『学修ポートフォリオ』という仕掛けがありますよね。

庄山.. 主体的な学びを設定することで学修の幅が大きく広がるので、このポートフォリオはより自分を成長させるツールになると思います。

吹原.. 専門的な知識だけが大学の学びではないので、4年間で人間としてもどのくらい成長したかなど、ポートフォリオを活用しながら確認していき、モチベーションアップにつなげて欲しいですね。

現代社会を生きるために必要なスキルアップと人間力育成。

渡邊.. これまでカリキュラムの改定にお

とんどがオンラインの時代になっています。この科目は現代社会には欠かせないものですよ。

渡邊.. 感性教育と情報・データ活用は全く異なる分野ですが、どちらも現代社会を生きる上で重要な要素ですね。さまざまな方向からスキルや人間性を磨けるのが、新カリキュラムの特徴だと感じています。

新しい学びのカタチを実現した新カリキュラムに乞うご期待！

渡邊.. 今回の新カリキュラムでは、学修面はもちろんです。1人の人間としての大きな成長にもつながる新しい試みがなされていると思っています。

庄山.. 本学には、国際文学部設置の意義をふまえ、学部教育の目的や体制、手法などをわかりやすく示した『FWU COMPASS』というものがあります。その9つの特徴は、全てが『人間性』と『国際性』、『主体性』につながるものです。新カリキュラムでは、このFWU COMPASSを重視した学びを用意していますので、高校生のみならずにはぜひ入学を検討していただきたいですね。

吹原.. 小さな大学だからこそ実現できたということも多くあります。学内だけでなく、学外でもこれまでにない体験ができる大学だと思います。

渡邊.. 今、明確な目的がなくても、新カリキュラムを導入した本学に入れればどこかで必ず見つかると思います。新しい福岡女子大学にぜひ期待してもらいたいです。



FWU COMPASSとは、国際文学部の設置の意義をふまえ、学部教育の目的、体制、手法などをわかりやすく示したものです。「世界を動かすひと」をつくるには、「国際文学部の教育理念を凝縮して表しています。『ひと』人間性」を「世界国際性」と「動」主体性」が支え、教育の中心には「文理統合教育」の理念、手法があります。

座談会

新任教員 × 新入生

特集02

私たち、福岡女子大でよかった!

2020年に着任した2人の講師と、2021年に入学した3人の学生たち。
フレッシュな目線で見、感じた福岡女子大学について本音で語ってもらいました。
良いところも、不安なところも、全部含めて大好きな福岡女子大学。
これからの夢もたっぷり聞きました!



入学して半年。

それぞれが感じる福岡女子大学の魅力。

竹内先生：まずは、福岡女子大学への入学おめでとうございます！と言ってももう夏休み(笑)みなさんの入学のきっかけを教えてください。

末永さん：私は将来、管理栄養士になって、出身である佐賀県と福岡県の国公立で資格を取ることができた大学を探していた、そこで見つけたのが福女大でした。どんな大学だろう？とオープンキャンパスに参加してみたのですが、他の大学と比べてアットホームな雰囲気が良いなと思ったのが入学の決め手です。

永野さん：正直、私は高校2年生までこの大学の存在を知りませんでした。進路に迷っていたときに、母から「福岡女子大学はどう？」と勧められたんです。それでオープンキャンパスに参加したのですが、先輩たちのイキイキとした姿に「こーだ！」と感じ、そこから第一志望として受験を頑張りました。

紙川さん：私は高校の頃から環境の材料について研究しています。福



女大は少人数制の大学なので、先生とも近い距離で深く研究ができそうだなと思って選びました。

竹内先生：実際に入学してどうでしたか？

永野さん：オンラインの授業でもみんな熱意を持って聞こうとしているのが伝わってきて、「私も頑張らなきゃ！」と思いました。パソコンの前だから気合いが入らないかなと思っていました。頑張ったのは福女大だったからだと思います。

紙川さん：オンラインでやっていると感じがしないんじゃないかと思っていたけど、逆に普通の授業よりも近くて質問がしやすい雰囲気だよ。

梶田先生：オンラインだと学生同士の交流が少なくなるので、まだ友達がいらない新入生には大変なこともあったよね。

竹内先生：だから梶田先生はZoomのグループワークルームを使って受講生同士が交流できるような機会を作られたんですよ。

ね。末永さんはどう？

末永さん：私は英語が苦手だったので不安でしたが、福女大はレベルに合わせてクラスが振り分けられているので安心しました。

竹内先生：もともと少人数なのに、さらにクラス



に振り分けられているからしっかりと学べるよね。

知らない文化に触れ、視野が広がる寮生活。

竹内先生：福女大は、1年次は全員寮生活だけど、それはどう思いましたか？

永野さん：それも福女大を選んだ理由のひとつです。ひとりひとり価値観や生活スタイルが違うので、気づくことがたくさんあります。何よりこのコロナ禍で、他の大学だったら部屋でひとり、パソコンに向き合っているのかなと思うと寂しい(笑)。「おかえり」た

国際教養学科 講師
梶田 知沙

環境科学科 講師
竹内 亮

食・健康学科 1年
末永 紗彩

国際教養学科 1年
永野 涼

環境科学科 1年
紙川 桃奈





大きく成長しているということ。だからみんなも来年にはもっといい顔をしていると思えますよ。

文系も理系もどんといい幅広く学べる独自の教育プログラム。

竹内先生：これから後期が始まるわけけど、どんなことを学んでいきたいですか？
紙川さん：私は環境という中でも環境に優しい物質などの材料学に興味があるので、それをもっと専門的に学びたいです。
末永さん：私も管理栄養士の夢に向けて、もつと食について深く勉強していきたいと思っています。食は命に関わることなので、覚えることがたくさんあって不安もあります。

すが：。
永野さん：私は小学校の頃からアナウンサーになりたいという夢があつて、そのためには国際、経済、法律などさまざまな知識がないといけませんよね。福女大は、文系や理系の枠を超えたプログラムなので、しっかりと選択していきたいです。

梶田先生：福女大は国際文理学部だけの1学部制で、文理統合教育のもと、学問の垣根を越えた自由な学びを提供していますよね。他の大学だと、例えば経済学部の学生が工学部の授業を受けるなんてなかなか難しいけど、ここの文理統合でさまざまな分野を学べるのが良いですね。今の時代は文系の人もデータ分析のようなスキルも求められることがあるので、時代のニーズに合った教育プログラムだと感じます。
竹内先生：僕たちは今、福女大にいるので

当たり前のように感じているけど、じつはこの大学の環境ってすごいですよ。

話が尽きない福岡女子大学の「ココ」が好き!

竹内先生：みんなから見て、福女大の良いところってどんなこと？
永野さん：最初にも話しましたが、学生の向上心があるところです。周りがみんな頑張っているから、私も頑張れていると思えます。

紙川さん：頑張らなきゃって思うよね。あとは、当たり前ですが学生が全員女子というところが私は好きです。女性だけで全てやるので強くなれるというか、考える力が身につく気がします。
末永さん：わかる！特に私は人見知りなので、女性だけの寮生活で友達がすぐにならなくて助かりました(笑)。あとは学生の数に比べて先生の数が多いところも、いろいろ相談できて良いなと思います。アットホームな雰囲気のカンパスも好きなお話です。
永野さん：校舎がキレイなのって、モチベーション上がるよね！本だけじゃなくて芸術作品がたくさんある図書館とかもキレイで好きだなあ。

竹内先生：僕はその図書館である美術館の運営委員をしているからそういってもうらやましていると嬉しいな(笑)。福女大は、そういう感性

※学生数：1082人 教員数：88人 教員1人当たりの学生数：12.3人（令和3年5月1日現在）
全国平均（私立大学）教員1人当たりの学生数19.6人（令和元年度文部科学省学校基本調査より）



教育にも力を入れているのも良いよね。

10年後、20年後、どんな自分になっていたいか？

竹内先生：これまで大学のことばかり聞いてきましたが、みなさん個人はどんな女性になりたいですか？



永野さん：自分の芯を持っていて、ブレない女性になりたいです。あとは、チャレンジし続ける女性に憧れます。もともと高校生の頃からリーダーや委員活動など積極的に参加していましたが、福女大に入ってさらにいろいろなことにチャレンジしたいという気持ちが強くなりました。



人生の先輩から、学生たちにアドバイス。

紙川さん：女性の目線から環境を考えられる研究者になりたいです。研究というところでも男性というイメージだと思いますが、福女大で学んだ女性としての考え方を活かせるかなと思います。そして、周りから憧れられるような女性になれたら最高ですね(笑)。
末永さん：管理栄養士の夢を叶えるのはもちろんですが、人の心に寄り添うことのできる女性になりたいです。仕事も家事も、育児も明るく頑張ってきた私の母のような女性に憧れます。

竹内先生：みなさんの夢が叶うよう、私たち教員も精一杯サポートしていきます！（笑）

竹内先生：それは最後に、僕たち教員から一言。福女大の学生たちは、みんな真面目で謙虚なところがあと感じています。それはとても良いことなのですが、逆にいうと慎重で失敗を恐れているところもあるというところ。だけど、失敗することって悪いことじゃないんです。大人になつてから記憶に残っていることって、じつは失敗したことや反省したことなんです。社会人になつてしまつと、失敗は「いけないこと」になつてしまつこともあります。ですから学生時代のうちに失敗をたくさんしてくださいね。失敗した分だけ、必ず成長に繋がります。
梶田先生：そうですね、私もこれまでたくさん失敗してきましたが、今では良い思い出

出なくなっています(笑)。あと私からですが、私は学生時代の後悔として、もっと勉強しておけばよかったと思っています。みなさんはすでにアナウンサーや研究者、管理栄養士という夢があると思いますが、専門分野の他にも「これは学んでみたい」と少しでも思ったことは、積極的に勉強してみてください。きつと夢にも繋がる場所が出てくると思えますよ。





子ども時代は、とにかく可愛がってもらいました。というのも私は当時、祖母と両親、それに姉という5人家族で暮らしていたのですが、姉とは9歳離れていたんですね。近くにいた従兄弟たちも姉と同世代ばかり。私一人、年齢が離れていたため、生まれたときはとにかく歓迎されたようです。両親は商売をしていましたから家には人の出入りもあり、お客様からも可愛がってもらって幸せな子ども時代でしたね。可愛がられることに味をしめてしまって、一人で近所に出かけていってはおやつを食べて帰ってきていたそうです(笑)。あとは姉の真似ば

9歳年上の姉に影響を受け、可愛がられた幸せな子ども時代。

——どんな子どもでしたか？

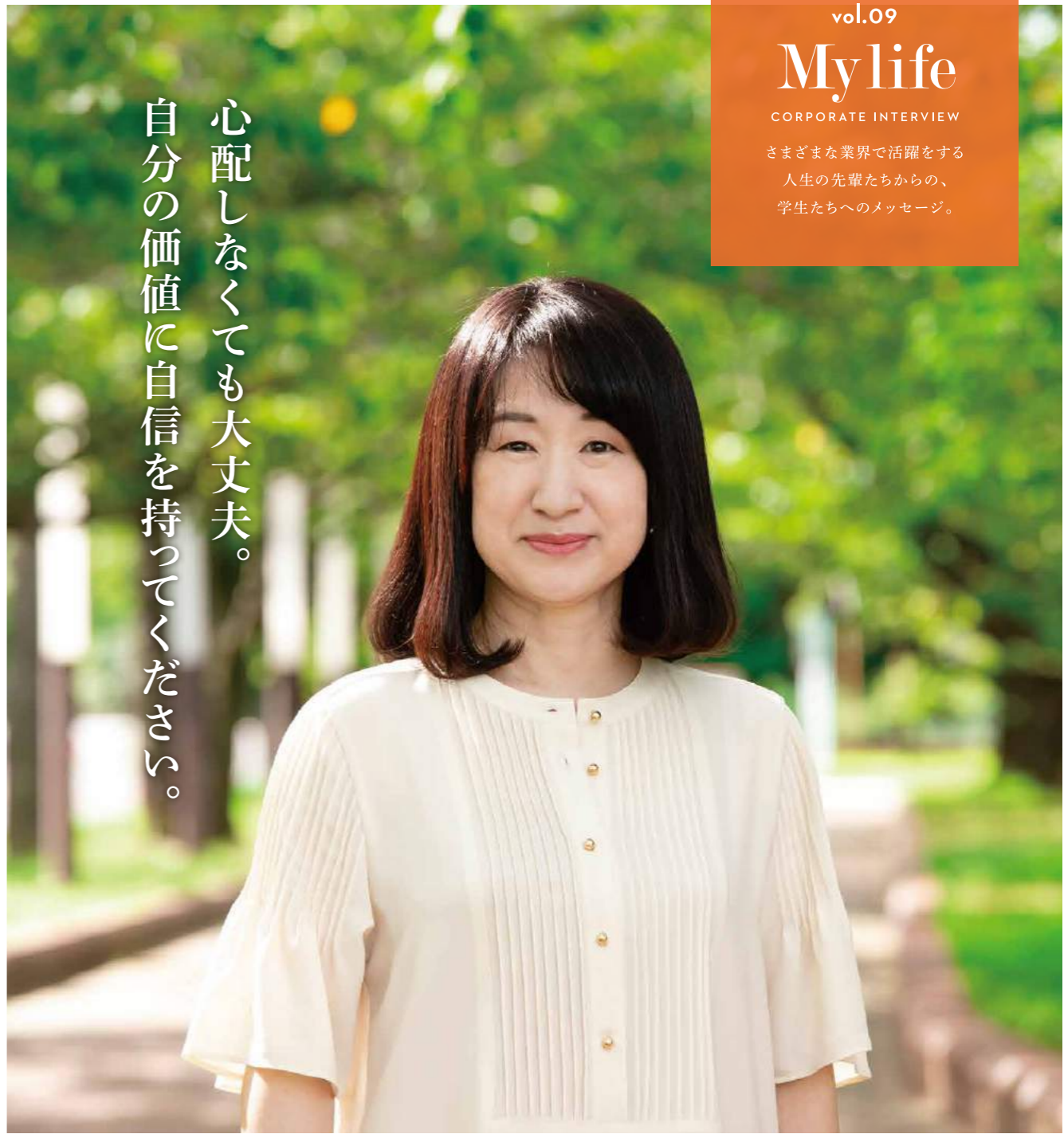
かりしていました。9歳離れているので私からするととても大人。小学生のときは、高校生や大学生の姉やその友達の会話に頑張つて参加していました。その姉が東京の大学へ進学すると、下宿先から送られてきた読み終わった本などを私が読み漁っていました。『anan』や『nonno』などの雑誌もあり、とても新鮮で楽しかったですね。

——その頃の夢を教えてください。

私の両親は、子どものやりたいことを遮らない人で、本やテレビ、雑誌、音楽など、なにをどれだけ見ても聞いても何も言いませんでした。ですから当時の私は純文学からSFまでさまざまな作品に出会えました。中でも姉の本棚にあった70年代のエッセイストやジャーナリストの作品に強く心を奪われ、そこに書いてある海外での暮らしや、日本とは違う価値観というものにとても憧れて…。その影響もあり、小学校から高校生くらいまではジャーナリストになりました。大学ではジャーナリズムを勉強したくて、新聞学科というものがあの上智大学の文学部へ進学しました。

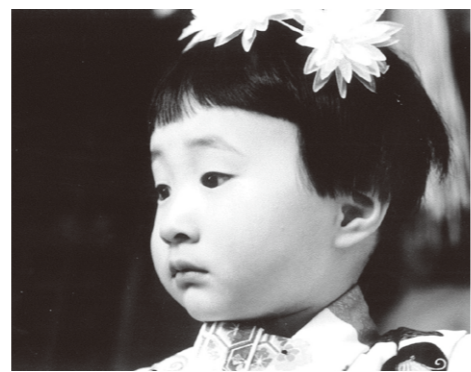
嫌いなことでも逃げないで。人生がもっと豊かになりますよ。

——学生時代にやってよかったこと。逆にやっておけばよかったことはありますか？
よかったことは、一生涯の友達と出会え



さまざまな業界で活躍をする 人生の先輩たちからの、 学生たちへのメッセージ。

心配しなくても大丈夫。 自分の価値に自信を持ってください。



七五三の時の写真

たことですね。私が入学した新聞学科には同じような目標を持つ学生が多く、学内にテレビ番組を制作できる本格的なスタジオがあったり、マスコミで活躍していた教授の授業があったりして、大学というよりは部活のような一体感のある雰囲気でした。卒業後も同じ業界の人がいて、仕事上でも緩やかに接点があったりして…。もう知り合って40年以上経ちますが、今でもすごく仲が良いんですよ。不思議なもので、学生時代の友達というのは何年会ってなくても、会うとすぐにその時代に戻るんです。同じ目標を持ち、切磋琢磨しながら過ごせたあの時代の友達はかけがえのないものですね。

——やっておけばよかったことは勉強。私は推薦で大学進学したので、歴史や政治、経済、数学などの基礎知識に全く自信がありません。一般教養をしっかり身につける努力を

株式会社電通九州
インテグレート・ソリューション局
専任局長 兼 新規ビジネス開発室長
おの かずみ
小野 和美 様
福岡県出身。城南高校、上智大学文学部新聞学科卒業。1986年男女雇用機会均等法施行年に日本経済新聞社に入社。その後、外資系広告会社勤務を経てUターンし、1997年より株電通九州に勤務。マーケティング・コミュニケーション、産学官連携等に従事。日本広告学会理事、日本マーケティング学会会員、ニュービジネス関連審査員等にも携わる。

INTERVIEWER



国際教養学科 2年 / 伝習館高校出身 松藤 晴香さん



国際教養学科 2年 / 九州産業大学付属九州高校出身 吉松 朱音さん

仕事とプライベート、それを無理に両立しようとしなくていい。

——今の仕事を選んだきっかけは？

私はこれまで新聞社、外資系の広告会社、そして今の電通九州という3つの会社を経験してきました。小学生の頃からジャーナリストに憧れてそのまま大学に行き、その流れで就職まで行ったという感じです。最初の新聞社では広告部に配属になり、広告をもっと突き詰めてみたいと思っていったときにヘッドハンターの方から声をかけられて広告会社へ。そこで5年半働いた後、病気の父の看病と祖母の介護で多忙な母に寄り添うために福岡へ帰ってきました。



高吸水性樹脂が水分を吸い込んだ様子

持続可能な社会の形成に貢献する紙おむつとは？

紙おむつは使い捨ての手軽さ、すなわち洗う手間がかからず、常に新品が利用されるので衛生的であることから重宝され、国内では9割以上の乳幼児に使用されています。一方、大人用紙おむつは高齢化の進展に伴って着実に増大しており、その傾向は当面続くことと推定されています。

紙おむつは使い捨ての手軽さ、すなわち洗う手間がかからず、常に新品が利用されるので衛生的であることから重宝され、国内では9割以上の乳幼児に使用されています。一方、大人用紙おむつは高齢化の進展に伴って着実に増大しており、その傾向は当面続くことと推定されています。

「育児と介護の必需品と呼ぶに相応しい存在といえるでしょう。」

国内の使用済み紙おむつは、おもに焼却処理がなされています。しかし、使用済み紙おむつは厨茶類(生ゴミ)と同様に大量の水分を含んでいるため、焼却の妨げとなる懸念があります。その一方で、ダイオキシン発生を防ぐため、焼却温度を少なくとも800℃以上に保つ必要があります。そのため、焼却処理時には重油等の助燃剤が大量に使用されており、環境負荷の大きな処理がなされています。また、使用済み紙おむつ中に含まれる高吸水性樹脂は、し尿などを吸収してゲル状になっており、焼却の際に溶融して焼却炉に悪影響を及ぼすと考えられています。

このような背景のもと、紙おむつを焼却処理するのではなく、リサイクルする試みが始まっています。福岡県内に所在する民間企業では、水溶化処理による紙おむつリサイクルが平成17年から開始されています。このように使用済み紙おむつは、これまでの「やむなく燃やすべき廃

棄物」という位置づけから、「燃やさずに再資源化するべきもの」との認識が変わりつつあります。そのような背景もと、民間企業と共同で、より効率的なリサイクル技術の開発を進めています。

現在の紙おむつに使われている高吸水性樹脂はプラスチック類と同様にいずれ枯渇が懸念される石油から製造され、上述のように多量の水分を含んでいるにもかかわらず、焼却処理されています。高吸水性樹脂が植物などの再生可能な天然資源を原料とし、微生物によって分解可能なものになれば、使用後の処理は容易になると考えられます。すなわち、使用

国際文学部 環境科学科
高分子材料研究室

教授 吉村 利夫

京都大学工学部高分子科学科卒業、京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻修士課程修了、東レ株式会社 高分子研究所および電子情報材料研究所に勤務の後、2002年福岡女子大学人間環境学部に助教として赴任、2006年に教授、改組により2011年から国際文学部教授。



ちようどその頃に子どもも生まれて、産後7ヶ月で今の電通九州に採用してもらいました。

――介護や看護、子育てをしながらの仕事に不安はありませんでしたか？

じつは福岡に帰ってきてから離婚することになったんです。ですからとにかく生計を立てないといけない。選択肢はなかったですね。昨年度が亡くなったのですが、後半8年は母の介護もありました。もしも人生のバールンというものがあるとすると、特に福岡に帰ってきてからの私のバールンはプライベートが占める割合が多く、残りの部分に必死で仕事を入れていく感じでした。子育ても介護も看護も、人の命に関わってくるものだから優先順位は下げられませんが、子育ては特に予測不能なことが起こるので、効率化も難しい。そこに仕事を詰め込むと、もうカオスな状態になるんです(笑)。カオスの中で、可能な限りできることをする。仕事では平静を装ってみても、水面下ではなかなかの状況でした(笑)。けれど、それがツライ思い出かというところがではない。楽しかったなと思います。家族を抱えてやってきたからこそその幸せを感じながら暮らしてきたので、もしこの20年をやり直していいよと言われても、家族のことを切り捨てて仕事オンリーでやりたいとは思いません。学生の皆さんはそうやって仕事とプライベートとを分けて考えるようですが、私は必ずしもそこを分断する必要はないと思っています。たまたま私

の選択肢がこれだけだったので、専業主婦だった究極のマルチタスクで素晴らしいもの。社会人になること=就職するというのではなく、ライフスタイルに合わせて、仕事をすることもよし、休んでもよし、そうしてそのとき最良の選択をしながら人生を歩んでいけたらステキですね。

――そのカオスだったときに、大切にしていた言葉などはありますか？

2番目に勤めた会社の創業者であるレオバートという人の言葉で、「When you reach for the stars, you may not quite get one, but you won't come up with a handful of mud either.」つまり「星を目指すと、星を手伸ばしていたら、星はつかめないかもしれないが泥をつかむこともない」という言葉が好きですね。たとえ目的地にたどり着かなくても、とんでもない方向には行かずに近くにはいられる。前向きになれる言葉ですね。

――最後に大学生に向けてメッセージをお願いします。

今、皆さんはさまざまな不安の中にいるかと思っています。けれど、私が言いたいことは「心配しなくても大丈夫」ということです。今は変化の時代、私たちの世代になると昔の成功経験ややり方を一度捨てて、リセット

時代の変化をポジティブに受け入れ、グローバルな視点を大切に。

しなければなりません。これはとても大変なことですが。けれど皆さんは、捨てるものがない。新しいものを吸収して、それを問題解決に向けて発信すればいいのです。VUCA(ブーカ)の時代なんて言われる予測不可能な時代。正しい予測なんて誰もできないのだから、変化に対してポジティブに受け入れるためのアンテナを立てておけば大丈夫。そしてグローバルな視点でものを考えてください。知識を学ぶことももちろん大切ですが、多くの人と出会い、価値観や考え方の違いを知るといった体験が、これからの時代には必要になってくると思います。福岡女子大学は、全寮制やリーダーシッププログラムなどがあり、これからの時代に最適な大学です。自分なりのリーダーシップで時代の変化を乗り越えて、ステキな女性になってほしいと思います。頑張ってください。



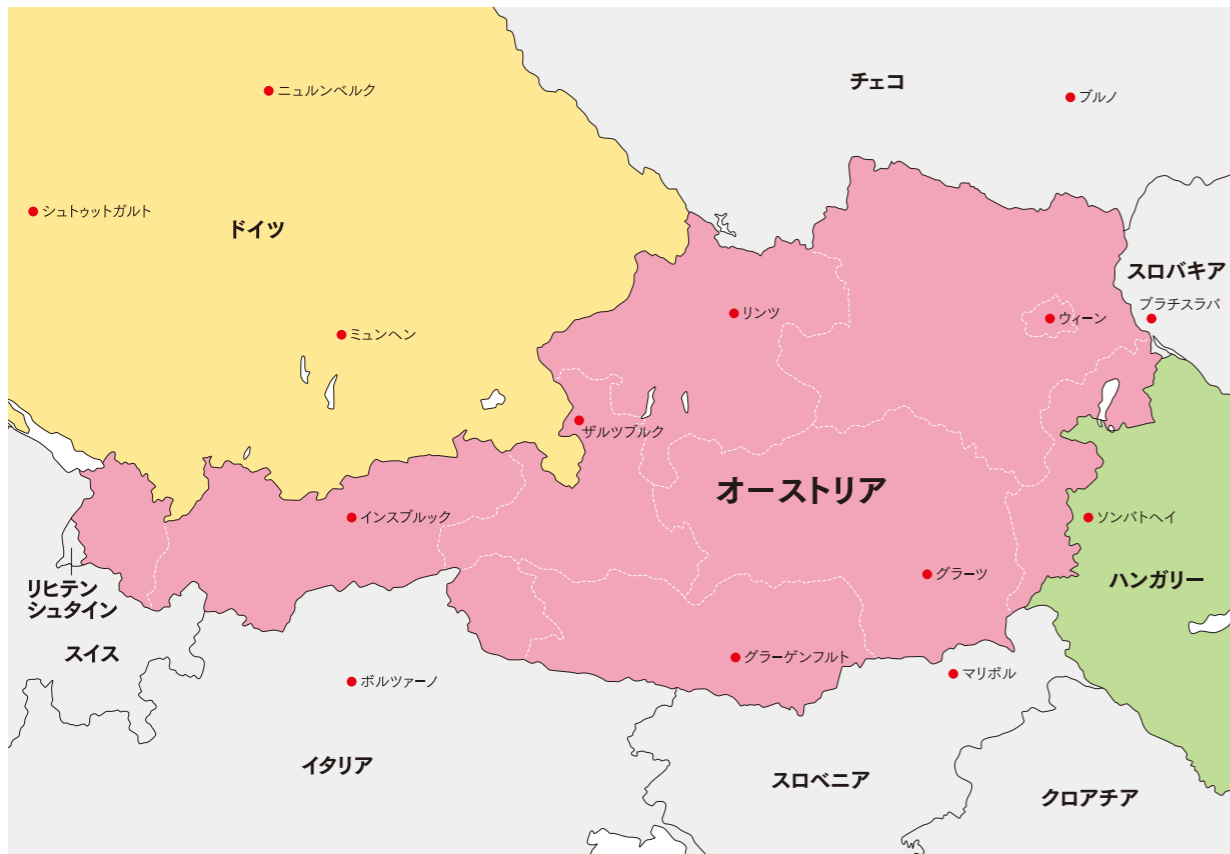
My life - 過去の記事 -

113号 2021.3	株式会社ゼンリン 本社統括本部ダイバーシティ推進部長 本社統括本部ダイバーシティ推進部	土谷 和子様 松岡 綾様
114号 2021.7	凸版印刷株式会社 九州事業部企画販促本部 TIC企画一部 部長	石橋 匠様
111号 2020.10	株式会社 西日本新聞社 北九州本社副代表兼営業部長	甲木 正子様
112号 2020.12	極東ファディ株式会社 取締役商品経営本部本部長	吉水 請子様

世界歴史 探究!

近・現代史のすきまを埋めよう

～オーストリア編～
馬場 優=文



現代オーストリア国家の誕生

ヨーロッパの小国オーストリアは、第一次世界大戦の終結との関係の中で誕生した。この国家の誕生を語る際には、中欧に数百年間君臨してきた多民族国家であるハプスブルク帝国に言及せざるを得ない。この帝国のエリアは、現在の国名でいえば、オーストリア、チェコ、スロヴァキア、ハンガリー、クロアチア、スロヴェニア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ(一九〇八年から正式な領土)、ルーマニアのトランシルヴァニア地方、ポーランド南部、ウクライナ西部、イタリア北部という広大なものであった。

さきほど「ハプスブルク帝国」と書いたが、これを正式な国名にしたことは一度もない。この「帝国」はハプスブルク家が所領として持っていた地域をまとめて指すものにすぎなかった。ハプスブルク家の所領は、ナポレオン戦争中の一八〇四年にひとつのまとまりとして「オーストリア帝国」とされた。そして、一八六七年にはさらに「オーストリア・ハンガリー(二重)帝国」と言われるようになった。プロイセンとのドイツ統一の主導権争いである一八六七年の普墺戦争で敗れたハプスブルク帝国では、非ドイツ系民族集団が自分たちの諸権利を求めて中央政府に抵抗する姿勢を示した。そこで、ハプスブルク宮廷はたびたび反発を続けていたハンガリー貴族に譲歩することで、事態の沈静化を図った。その結果、ハンガリー王国の権利が大幅に認められた。こうしてできた体制を「アウスグライヒ(Ausgleich)」体制という。

多民族国家の分離独立

第一次世界大戦において二重帝国軍が戦場では一進一退を繰り返す中で、国内では徐々にモノ不足と食糧不足が深刻になっていった。他方、国外では、開戦直後から帝国解体を叫ぶ亡命ナショナリストが活動していた。英仏などの交戦国、また当初は中立を維持し一九一七年四月に参戦することになるアメリカは、戦争の途中まではハプスブルク帝国の解体を戦争目的にしてはいなかった。彼らにとって、ハプスブルク帝国の重要度は高くはなく、ハプスブルク帝国をドイツから引き離し、ドイツの戦力が弱体化することができればそれで良かったのであり、そのためにはハプスブルク帝国との単独講和も選択肢としては存在していた。このことは、亡命ナショナリストにとっては致命傷であった。しかし、一九一七年後

半以降、連合国は、ハプスブルク帝国の解体に方針を転換した。これには亡命ナショナリストの努力も大きく影響していた。亡命ナショナリストは、自分たちの国家、例えばチェコ人の国家を作ると主張したのである。

開戦以降、国内では、非ドイツ系民族集団は帝国の枠内での自治権拡充を主張していたものの、モノ不足と食糧不足の悪化、連合国の政策転換、亡命ナショナリストの国内の政治家への影響力浸透などによって、一九一八年夏になると帝国内では帝国解体が叫ばれるようになった。その中で、ドイツ系住民は帝国の存続を当初は主張していた。しかし、十月中旬になると、チェコ人がボヘミア諸州(ボヘミア、モラヴィア、シレージエン)の帝国からの離脱(二重分離独立)を宣言した。また、帝国南部では、セルビア人、クロアチア人、そしてスロヴェニア人がクロアチアとスロヴェニア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの帝国からの離脱を宣言した。そして、ハンガリー政府が一八六七年のアウスグライヒ体制を破棄することを宣言した。このほかにも、ポーランド人やウクライナ人も同様の動きを見せた。各民族集団が帝国からの離脱を示す中で、ようやくドイツ系住民も帝国との縁を切ることを決意した。十月三〇日にドイツ人系の諸政党が「ドイツ・オーストリア国民議会」の設立を宣言した。各民族集団のこのように

「誰も望まなかった国家」と呼ばれたオーストリア

一九一八年十一月十一日、ドイツと連合国との休戦が成立し、これをもって第一次世界大戦は事実上終結した。翌日、ドイツ・オーストリア国民議会は臨時政府の樹立を宣言した。そして、ドイツ・オーストリアの国家形態に関する法律が布告された。第二条には「ドイツ・オーストリアはドイツ共和国の一部である」との文言がいられた。これは、ハプスブルク帝国のドイツ系住民たちが隣国のドイツとの合併を希望することをあらわしていた。

「誰も望まなかった国家」と呼ばれたオーストリア

連合国とドイツ・オーストリアは一九一九年九月にサンジェルマン講和条約を締結した。この中で、連合国はドイツ・オーストリアとドイツとの合同を認めず、また国名を「ドイツ」を削除した単なる「オーストリア」にした。さらに、オーストリアはドイツと同様に第一次世界大戦の責任を負わされ、連合国によって敗戦国として認定されたのである。世界大戦が勃発した一九一四年当時、共和制国家オーストリアはなかったにもかかわらず。

このようにして誕生した共和制国家

オーストリアは「帝国の」残滓(Overest [Osterreich])とか、「誰も望まなかった国家」と呼ばれた。その文脈で考えれば、一九一八年にヒトラーのナチス・ドイツがオーストリアを併合したときに、オーストリアの人々(もちろん全員ではないが)が熱狂的に彼を受け入れたことは合点がいく話かもしれないだろう。

PROFILE [執筆者プロフィール]



ばば まさる
馬場 優
国際教養学科 教授

第1次世界大戦の直接の原因となったサラエヴォ事件の当事国であるハプスブルク帝国(オーストリア=ハンガリー帝国:1867-1918)の外交について主に研究している。また、現在のオーストリアの政治や社会情勢についてもウォッチしている。

11 2021.08.01

リアルオープンキャンパス開催

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、来校型のオープンキャンパスを実施し、午前の部・午後の部合わせて約300名の方々にご参加いただきました。

本学のオープンキャンパスは、在学生スタッフ「広報サポーター」が中心となって、企画・運営を行っています。今回も各学科のプレゼンテーションや寮紹介など、工夫を凝らした企画で参加者の方々をご案内しました。参加した高校生からは、「大学生と直接話して色々聞けて良かった!」「もっと福女大に行きたいと思った」などの声をいただきました。



お揃いのTシャツとバンダナでお出迎え

12 2021.08.02 - 08.06

2021年度 教員免許状更新講習

文部科学大臣の認定を受けて、5日間の教員免許状更新講習を実施しました。普段は授業を実施されている学校の先生方が、講義や実験・ワークショップ形式の講習を受講し、日頃の指導の振り返りや知見を深める機会としていただいています。新型コロナウイルス感染拡大下での実施となりましたが、全ての講習において感染防止対策を施し、延べ100名の方に受講いただきました。



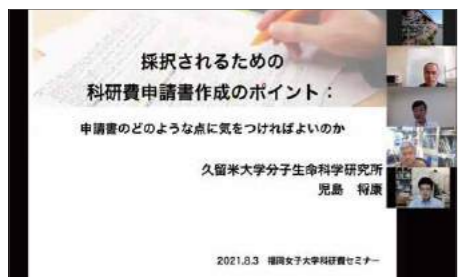
講習の様子(教育相談)

講習の様子(理科等)

13 2021.08.03

2021年度 外部資金獲得セミナー開催

科学研究費申請の増加、採択率向上に向けた取組として「外部資金獲得セミナー」を開催しました。今年度は、科研費獲得支援において著名な久留米大学の児島将康教授をお招きし、「採択されるための科研費申請書作成のポイント」というテーマのもと講演いただきました。セミナーには多くの教員が参加し、採択につながる申請書作成のポイント等を丁寧にご説明いただきました。



オンライン(ZOOM)での外部資金獲得セミナーの様子

8 2021.07.17

もっと語り合う福女大を描いて『カタカタ』開催

社会課題について語り合う企画「カタカタ」をオンラインで実施しました。当日は、ステレオタイプに対する無自覚や無意識の偏見から生まれる差別をテーマに、アクティビティを行い、映像を視聴しました。そして、身近なところから社会にまで視野を広げながら、感じ、考えたことを自由に語り合いました。イベントの詳細や、企画運営を試行錯誤、もがきながら進めていく中で得た学びを福女大ブログ「FWU Stories」で発信しています。



▲ブログはこちらからご覧ください

▼カタカタ初のオンライン開催当日の様子

9 2021.07.19

交通業界の女性トップリーダーへのインタビュー

「交通とジェンダーに関する国際研究」の活動の一環として、JR九州・博多駅の鐘ヶ江理恵駅長に「交通の現場でのジェンダーの課題と展望」についてお話を伺いました。鐘ヶ江駅長は業界のトップリーダーであると同時に本学女性トップリーダー育成研修の第2期生でもいらっしゃいます。

鐘ヶ江駅長のキャリアストーリーをはじめ、大変貴重なお話を伺うことができました。インタビューの最後には、学生の皆さんに向けて「女性活躍の時代でチャンスは沢山あります。社会での自身の存在意義や、やりがいを感じながら働ける人になってください。」という励ましのメッセージを頂きました。(環境科学科 准教授 松永千晶)



▼「2021年度女性トップリーダー育成研修」受講生募集中。詳細はこちらから



▲左:女性トップリーダー育成研修第2期生の鐘ヶ江駅長、右:松永准教授

10 2021.07.29

WJC Spring 2021 Closing Ceremony

海外協定校から交換留学生を受け入れるWJCプログラムは、コロナ禍のため、昨年度から遠隔で実施しています。2021年春学期は、6大学(レディッシュラムカレッジ、ガジャマダ大学、ルンド大学、タマサート大学、ミュンヘン大学、マンチェスター大学)から受け入れた留学生8人が本学の学生と一緒に遠隔講義を受講し、無事に春学期を修了しました。修了式では、一人一人がスピーチを行い、友人との別れを惜しんでいました。学生間の交流もバーチャルなものとなりましたが、彼女たちの心に友情が育まれたことが感じられた、よい修了式でした。



▲オンライン(ZOOM)での閉講式の様子

4 2021.06.20

田植えから見えてきた「過程」

正課体験学習「『狩猟』からみつめなおす暮らしと仕事」の活動の一環として「いとしまシェアハウス」(糸島市)の田んぼにて田植えを体験しました。発起人・管理人の畠山千春さん・志田浩一さんとの対話や、稲穂を使った手植えの作業から、今まで考えることのなかった「食べる」や「生きる」の「過程」が見え、様々な「過程」があって自身の暮らしが成り立っているのだと気づきました。食・健康学科で学んでいく上で、人の健康な暮らしを支える「過程」にどう関わることができるかを考え始めています。(食・健康学科1年 萬谷晴佳)



▼コミュニケーションを取りながらの作業

5 2021.06.25

大学概要説明会開催

高等学校の先生方を対象に、大学概要説明会をオンラインで開催しました。昨年度の入試結果や今年度入試概要はもちろん、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本学がどのような取組を行ってきたか、「講義・実習」「寮生活」「留学状況」「キャリア支援」の視点から紹介するとともに、本学学生も自身の活動について発表しました。参加いただいた先生方からは、「福岡女子大学のサポート体制の充実をうかがい知ることができた」などの感想が寄せられました。



6 2021.06.26

人間環境科学研究科 博士後期課程 学位論文公開審査

人間環境科学研究科 博士後期課程 栄養健康科学領域の学位論文公開審査が行われました。発表者は公衆衛生学研究室の永原真奈見さん、森田理恵子さん。本来であれば学内の会場で公開して実施されるのですが、コロナ禍ということもあり、対面・遠隔併用のハイブリッド方式にて開催されました。



7 2021.07.02

東部地域大学連携オンライン学生懇話会

福岡市東区に位置する本学、九州産業大学、福岡工業大学は、「東部地域大学連携」という連携協定を締結し、相互の学生交流、地域貢献活動を行っています。この度、今年度の学生交流活動のキックオフとして、3大学の学生が集まり、オンラインで学生懇話会を実施しました。今年度は本学が幹事校です。学生自治会のメンバーが参加し、今年度の活動に関する紹介が行われました。コロナ禍ですが、出来る形での交流、地域貢献活動を検討、実施していきます。

オンライン(ZOOM)での学生懇話会の様子



1 2021.05~

今年度も学生委員活動が始動、新しい取組も

コロナ禍が続く中、教職員から構成される7つの委員会で全22名が学生委員としての活動を始めました。5月にはオンラインで委嘱式とキックオフ、6月末には目標設定セッションを開催。さらには、向井学長の四駆モデル(教員・職員・学生・同窓会)の具現化の一環として、教職員向けの研修会(FD/SD)に学生委員として参加しました。研修会に先立ち学長との対話の時間も設けられ、これらは学生委員の取組史上初めてのことでした。大学という場を共につくりだすために学生委員が発揮する「自分色のリーダーシップ」を、ブログでも継続的に発信していきます。



目標設定セッションの様子

2 2021.05.20 / 06.23 / 07.15

どんどんトライ!「学びのポトラック」

本学、関西大学、京都産業大学、北九州市立大学の学生と先生がオンライン上で集い、対等に学び合う場である「学びのポトラック」を実施しました。第1回、第2回の開催を経て、第3回の企画・進行は学生が担い、17名が参加しました。参加者は、大学・学年・立場の垣根を越え、大学での「学び」について活発に議論できることを楽しんでいます。また、会の運営に取り組むことで、「失敗が怖い」から「失敗してもいいからやってみよう!」と捉え方が変化していきます。今後も1か月に1回のペースで継続していく予定です。(国際教養学科2年 冨永楓)



▼7/15 第3回学びのポトラックの様子

3 2021.06

ブログサイトオープン! 「FWU Stories—もっと知ろう福女大—」

福女大の魅力をより多くの皆様にご覧いただくため、本学ホームページ内に公式ブログを開設しました。本学のニュースやイベント情報はもちろん、学生が体験した日常の出来事など、バラエティーに富んだ内容を掲載していく予定です。福女大の「今」と「リアル」をお届けします。随時更新予定です。ぜひご覧ください。



▼ブログはこちらからご覧いただけます

15 2021.08.05 / 08.06

～コロナ禍に国際交流の新しい風を～
「Discover J-culture with JD-Mates」

コロナ禍で海外に行くことが厳しい状況の中、国際交流活動を再興するため、福女大初となる学生主体で運営するオンライン国際交流イベントを開催しました！Webサイト作成&運営・プロモーションビデオ作成・問い合わせ対応や案内の作成を担うPublicityチームと、各セッションの企画・MC・技術サポートを担うOrganizingチームからなる、JD-Matesの有志 計34名で、新たな国際交流の形を模索し、4月から準備してきました。その結果、350名以上の応募をいただき、インド、ベルギー、メキシコなど、世界26カ国200人以上の海外協定校の学生が集まる大規模なイベントとなりました。(国際教養学科3年 国武佐知子、吉田真悠)



▼落語ワークショップ



14 2021.08.04

教職員向け研修会の開催

2022年度から始まる新カリキュラムでは、専門分野の異なる複数名の教員でデザイン・展開していく「文理統合科目」が設置されます。その目的や位置づけの理解を深めるためのFD研修が開催されました。講師に関西大学の山田剛史先生をお招きし、前半では教育の質保証に関する講演、後半では本学の共通教育に関する課題と解決方法を考えるワークショップを展開し、各グループ活発な意見交換がなされました。この他にも、「授業改善のための情報交換会」(6/3)、「遠隔授業見学週間」(6/28～7/1)、「大学の今後のビジョンの共有」(7/7)といったテーマで研修会を行い、よりよい大学になるよう、教職員一丸となって取り組んでいます。



講演いただいた山田先生▶

成果報告

九州学生春季テニス選手権大会
準優勝

7月13～22日、宗像市グローバルアリーナで行われた「令和3年度九州学生春季テニス選手権大会」において、環境科学科3年の鞍垣絢さんが女子ダブルスに出場し、見事準優勝を果たしました。

鞍垣さんコメント

コロナ禍で思うように練習できない時期もありましたが、満足な結果を残すことができ、本当に嬉しいです。



▲左から鞍垣絢さん、ペアを組んだ西南学院大学の福田優さん

漕艇部 国民体育大会福岡県予選 優勝

遠賀川漕艇場で行われた「国民体育大会福岡県予選」において、漕艇部が成年女子舵手付きクワドルプルで見事優勝いたしました。(九州大学と合同で出場)

【出場メンバー】

漕手	マネージャー
国際教養学科2年 尾崎 有彩さん	食・健康学科2年 高木 麻衣さん
食・健康学科2年 山入端 里南さん	食・健康学科3年 豊田 萌々子さん

また個人では、国際教養学科3年 安永春花さんが成年女子シングルスカルで準優勝しました。

漕艇部 部長 安永さんコメント

今回の大会が自分たちにとって、初の公式戦で緊張と不安でいっぱいでしたが、クルー全体で力を合わせ、一着でゴールすることができました。この経験を活かし、今後の試合でも好成績を残していきたいと思っています。これからも応援していただければ幸いです。



▲左から尾崎さん、竹下文乃さん(九大)、前列右から豊田さん・高木さん・尾崎さん・山入端さん、左から2人目 安永さん

OPEN THE DOOR



扉の先に未来がある

社会で羽ばたく
なでしこたち

#5



UHA味覚糖株式会社
上野 由貴さん

2014年度 国際教養学科 卒業

オープンキャンパスでの出会い

私は高校生の頃、国際開発に興味を持っていました。福女大のオープンキャンパスに参加し、国際開発について座学に加えスリランカに行き実践的な経験を積む事ができる「体験学習プログラム」の事を知り、非常に興味を持ちました。また、その担当教員である和栗先生との出会いにも衝撃を受けました。その場にいた生徒の名前をすぐに覚え、一人ひとり目を見て名前で呼んでいて、人との距離の縮め方に短時間で心

を掴まれました。

福女大に入学し体験学習プログラムに参加したことで、自分の考えを自分の言葉で表現できるようになりました。高校生の頃までは、他人に合わせる性格だったため、自分の考えが持てず、周りに流されていました。しかし、体験学習では「由貴はどう考える？何故？」と何度も繰り返して和栗先生より、自分と対峙するきっかけをたくさん与えられました。そこから徐々に物事を突き詰めて考えられるようになり、それを自分の言葉で紡いでいく事で、皮剥けた

自分の考えを発信できるようになったと思います。

あの時の経験が活かしている

現在は、お菓子メーカーの会社で営業を行っています。中でも私はヘルスケア商品を中心に担当しています。自社商品をドラッグストア等により多く並べてもらい、多くの消費者の手に取ってもらえるように日々営業活動をしています。

私の担当するヘルスケア業界において自社商品は後発で売上規模も小さく、なかなか商談も成功せず自身の成績が伸び悩んでいました。しかし、私は売上以外の面でも出来る事を考え、肩書きなどは無視して、得意先の企業のキーパーソンをpushしにか

かりました。いきなり相手先の社長に直接アポイントを取ったり、先輩上司からびっくりされるようなこともやりました(笑)その結果、売り上げが10倍に伸びた企業もありました。もちろん失敗することもあります。大学の体験学習プログラムで、色々な肩書きを持つ大人達と一緒にイベントを創り上げた経験が、物怖じしない私の基盤を築いたのだと思います。

大学には社会人になる為の準備機会がたくさんあります。私の職場には有名大学出身の人が多くいますが、大学のうちから一つの学問として、実践的に社会人と関わり学びを深めた人は稀です。スタートダッシュで、その後の社会人生活に大きく差が出ると思います。



学生時代の私(大学1年生で体験学習スリランカプログラムに1期生として参加)

福女大生へのメッセージ

社会に出たら日々の忙しさで、つい自身と向き合う事を忘れてしまいます。だからこそ時間がある今のうちに、どんな大人になりたいのか、どう生きたいのか信念を固めておくと、迷った時や辛い時の自分の支えとなると思います。

福岡女子大学100周年記念事業

未来を拓く なでしこの花 一人を育て、知を生かす



寄附報告

福岡女子大学100周年記念事業基金へのご寄附に、心からの感謝を申し上げます。

計	件数	寄附額
	1,386件	159,415,726円

(2021年7月31日現在)

領収書について

2021年5月1日から2021年7月31日までに寄附いただいた皆様には、2021年8月末頃までに「福岡女子大学 百周年記念事業基金寄附金領収書」を発送しております。

この領収書は確定申告時に必要となりますので、大切に保管いただきますようお願いいたします。

また、ご寄附いただいた方で、領収書がまだ届いていない方は、お手数ですが、募金企画部までご連絡いただきますようお願いいたします。

寄附者ご芳名

福岡女子大学100周年記念事業の趣旨にご賛同いただき、多大なご協力・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2021年5月1日から2021年7月31日までに寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名のご公表を希望されない方は掲載しておりません。

今後とも福岡女子大学100周年記念事業への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

※本学ホームページにおいて、寄附開始以降、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載しております(ご公表を希望されない方を除く)。

1 お名前・寄附金額の掲載についてご了承いただいたご寄附者様

※寄附金額別、五十音順にて掲載させていただきます。カッコ内の数字は累計寄附金額です。

20万円	小辻 芳子様(50万円)	福永 洋子様(2万円)
10万円	三浦 相子様(15万円)	前田 百合子様
5万円	花石 禮子様	1万円 山本 恵子様
	帆足 靖子様(20万円)	横尾 恵子様
3万円	古川 道子様(5万円)	若狭 孝子様(2万円)
2万円	中田 保子様(42万円)	5千円 馬場 広希様(6万5千円)
	森 房子様	
1万円	石川 博子様(11万円)	
	久保山 君枝様(4万円)	
	櫻井 純子様(3万円)	

2 お名前だけの掲載についてご了承いただいたご寄附者様

※五十音順にて掲載させていただきます。カッコ内の数字は累計寄附回数です。

あ	江頭 勝子様(4)	た	立石 セツ子様
	大橋 佐登子様		戸田 裕子様(4)
	岡田 福子様	は	原 淑子様(2)
	小田 幸子様(3)		廣吉 宣子様(3)
か	倉崎 滌美子様(3)		深町 朋子様(2)
	小南 紀子様(2)		株式会社ふくや様(3)
	堺 養子様(2)	ま	松永 千晶様
さ	佐藤 秀樹様		水元 和子様
	白石 望様		向井 剛様(2)
た	田尻 智子様		村山 美和様(2)

お問い合わせ
はこちら

福岡女子大学100周年記念事業基金(募金)に関すること

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 募金企画部会
TEL:092-692-3200 FAX:092-661-2420 E-mail:100th-bokin@fwu.ac.jp

NEWS

福岡女子大学100周年記念事業 動物彫刻家 田代雄一 木彫展

本学美術館(図書館内)にて、動物彫刻家 田代雄一氏の彫刻展を開催中です。木彫りならではの温かみある作品達は、来館者の皆様思わず顔を近づけたくなる魅力でいっぱいです。『たまごから生まれたこいぬ』をはじめ、実際に手で触れる事ができる作品もございます。可愛い動物たちは一体どんな感触なのでしょう。動物たちの魅力を確かめて来てみませんか?写真撮影も可能です。また、図書館の学生アルバイトの皆さんにご協力いただき、『動物たちと不思議な物語』と題する企画展示を同時開催しています。動物のキャラクターが登場する不思議な物語や、動物彫刻に関する本を集めた手作り感あふれる可愛い展示空間となっていますので、彫刻展にお越しの際は、ぜひ展示コーナーにもお立ち寄りください。

※団体様での来館は、事前にご連絡いただきますとスムーズにご案内出来ます。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、入場制限や開催内容の変更が行われる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください。



期間:2021年9月13日(月)~
2022年3月30日(水)

場所:福岡女子大学図書館内
福岡女子大学美術館

*入場無料 *閉館日については福岡女子
大学図書館に準じます

問合せ先:092-692-3202(直通)
Mail:art@fwu.ac.jp 担当:田代



▲社会福祉法人さつき会様ご来場風景(7/30、8/5)
お気に入りの作品を見つけて思わず笑顔に。



▲企画展示「動物たちと不思議な物語」

編纂の寄り道

50年前のお言葉から

福岡女子大学広報の第1号は、今から51年前の昭和45年12月20日に発行されました。50年以上も前のものですが、1頁目、「大学についての所感あれこれ」という題で寄せられた当時の倉野憲司学長の文章には、今の時代にも通ずる問題や、現在学生の私にも少々耳が痛いお話があって、なかなか興味深いものです。中でも特に私の印象に残ったのは、「今は『断絶』の時代であると言われてます」という文章に始まる段落です。物の見方や考え方における世代間や親子間の差はいつの時代にもあったもので、今がそういう時代と言われてることを口実に責任を回避してはならない。断絶した互いの立場だけでも、「対話」によって理解し合うことが大切だ、と述べられています。これは現代でも言えることでしょう。「これだから若者は」「これだから上の世代は」で済ますのではなく、私も一端の社会人として、対話で歩み寄る努力のできる人間でありたいものです。



福岡女子大学広報 第1号

記念誌編纂部会
国際教養学科3年
矢野 さくら



当時の講義風景▶
(第17回卒業
アルバムより)

